

植物成長調整剤
ジョンカラプロ
キノキサリン系・MEP 水和剤

平成 29 年 2 月 23 日付けで以下の通り適用拡大されました。

<変更内容>

- 作物名「りんご(ふじ)」及び「りんご(ジョナゴールド)」を「りんご」に変更。
- 希釈倍数「500倍」を「500～1500倍」に変更。
- 使用時期「収穫40～50日前」を「収穫30～50日前」に変更。

下線が変更部分です。

作物名	使用目的	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	キノキサリン系を含む 農薬の総使用回数	MEPを含む農薬の 総使用回数
<u>りんご</u>	摘葉	<u>500～1500倍</u>	400～700L/10a	<u>収穫30～50日前</u>	1 回	散布	1 回	3 回以内

<使用上の注意事項>

【変更後】

- (1) 本剤の所要量を水に希釈し、よくかきまぜて散布液を調製し、果そう葉を中心に散布すること。
- (2) 散布の際は汚れによる着色不良をさけるため展着剤を加用すること。
- (3) 本剤は使用するりんごの品種によって効果等に違いがあるため、以下の点に注意すること。
 - ① ふじなどの晩生種に使用する場合、散布前後で数日間気温の低い日が続くと効果が不十分となるおそれがあるため、晴天で温暖な時期を選び、所定範囲内の高濃度で散布すること。
 - ② つがるなどの早生種に使用する場合、散布前後で数日間気温の高い日が続くと過剰落葉となるおそれがあるため、極端な高温とならない時期を選び、所定範囲内の低濃度で散布すること。
- (4) 若木や徒長枝が多い樹などでは効果が不十分になることがある。
- (5) 過剰落葉となるおそれがあるため、重複散布はさけること。
- (6) 落葉が不十分な場合は、手摘み又は水散布などで補正葉摘みを行うこと。
- (7) 次のような条件では過剰落葉・薬害のおそれがあるので使用をさけること。
 - ① 樹勢の弱い樹。
 - ② 病害虫の著しい被害を受けた樹。
 - ③ 極端な高温時。
 - ④ ボルドー液を散布した後の樹。
- (8) 本剤散布に使用した器具類は、使用後できるだけ早く水で十分洗浄し、他の用途に使用する場合、薬害の原因にならないように注意すること。
- (9) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (10) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ① ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
 - ② 関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- (11) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

